

第59回通常総会開催

東京・平河町で6月21日

全海運は6月21日、東京・平河町のホテル・ルポール麹町で第59回通常総会を開催し、

①平成28年度事業報告書及び収支決算書・財産目録・貸借対照表承認の件 ②平成29年度事業計画(案)並びに収支予算(案)承認の件 ③平成29年度徴収賦課金分担(案)承認の件 ④役員全員任期満了による改選の件、を原案通り満場一致で承認した。



(写真左から)挨拶する藤井会長、総会議長をつとめた原田副会長、臨時理事会議長をつとめた蔵本副会長、議事進行の中島専務理事

総会終了後、新任理事による臨時理事会が開催され、藤井肇会長と原田勝弘氏(九海連会長)、蔵本由紀夫氏(中海連会長)、寺岡洋一氏(中部沿海理事長)の3副会長が重任。四海連から村田泰氏(徳島理事



全国から参集した全海運役員

長)に替わって、岡田俊夫氏(高知理事長/四海連会長)が副会長に選任された。また、前会長の小比加恒久理事相談役が総連合会会長2期目に入る今回、公平公正の立場から全海運の役職を辞任して総連合会に専念することとなった。

その後、国土交通省海事局から羽尾一郎海事局長ほか同局関係者、総連合会から小比加会長、加藤由紀夫理事長ほか関係者らが招かれ、懇親パーティーが開催された。

藤井会長はパーティー開催に当り、次のように抱負を語った。

ご来賓の皆様方には、ご多忙の中をご参集頂き、誠にありがとうございます。

懇親パーティー



(写真左から)開会挨拶する藤井会長、来賓挨拶の羽尾海事局長、乾杯する小比加総連合会会長

また、理事の皆様方には第59回通常総会のご審議に当たりまして、ご協力いただきありがとうございました。お陰様で29年度の事業計画(案)、収支予算(案)を満場一致でご承認いただきました。心新たに精進してまいりますので、引き続きご支援—ご協力のほどお願いいたします。



まず、羽尾海事局長殿始め海事局の皆様方には、「内航海運の活性化に向けた方向性検討会」におきまして、さまざまな角度からご検討いただき、新たな内航ビジョン「内航未来創造プラン」を作成、公表いただける運びとなりましたことに、心から感謝申し上げます。



暫定措置事業も昨年4月から新しいルールに移行し、順調に推移して終息の目途も1年前倒しになると推測されており、ややもするとさらなる前倒しが考えられ、今後の組合組織・活動のあり方について、再度真剣に議論すべき時機にきていると認識しております。



また、海上輸送量が徐々に減少して行く中で、暫定措置事業の順調さとは裏腹に、内航船舶の72%が船齢14年を超える老齢船となっており、近代設備を備えた地球環境に優しい船舶への代替建造が早急に求められております。これが促進するためには、適正な運賃・用船料の獲得に向け、業界一丸となって取り組む必要があります。

加えて、船員不足問題も個々の船主の努力は勿論ですが、荷主さんも含めて官民一体となり、その解消に向けた対応策についてSOx問題同様、オールジャパンで知恵を出し合って検討していかなければなりません。内航海運は、日本経済を支える物流産業の大動脈であります。皆様には環境面を含め安全運航、そして法令遵守をしっかりと行いながら、国民から信頼される内航海運を構築していくことが求められております。

厳しい経済環境の中ではありますが、皆様のさらなるご努力をお願い申し上げます。

課題は山積しております。引き続き皆様の心強いご支援ご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。全海運の益々の発展と、会員各位の事業のご繁栄、そして本日もご参集の皆様のご多幸をお祈りして、私の挨拶といたします。